

国際ロータリー 第2500地区 第4分区
遠軽ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF ENGARU, AREA 4, RID2500

第3093回例会記録

日時：2023年10月26日(木)12:30～

会場：ホテルサンシャイン2F

司会：上田 稔 副SAA⑤

★開 会 点 鐘：木村 一則 副会長

★国 歌：－

★Rソング：それこそロータリー

★四つのテスト：－



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度 国際ロータリーテーマ

2023~2024 Weekly Report No.16

11月 2日 (木) 12:30～
ゲスト卓話
メトロプラザアドバイザー
大西 定信 様

11月 9日 (木) 12:30～
ゲスト卓話
遠軽町教育委員会
語学指導助手(ALT)
フィリップ N. ホレブ 様

鶴見 誠一郎 RID2500 ガバナーズローガン：今こそ変わる勇気を！さあ、一步前へ
高橋 義昭 遠軽ロータリークラブ会長スローガン：継続は力なり

会長報告 木村 一則 副会長③

月初に高橋会長から10月はポリオ撲滅月間だという話がありましたが、

一昨日10月24日は「世界ポリオデー」で、世界各国でポリオに対する様々な活動が行われています。ポリオの現状を見てみますと、相変わらず常在国はアフガニスタンとパキスタンで、アフガニスタンはここ3年で減少傾向ですが、パキスタンは一昨年たった1件だったのが昨年は20件と拡大してしまいました。内戦の影響でワクチンの一斉投与が出来ないことが原因だと思われませんが、何とか内戦が収束に向かい早く一斉投与が出来るように願うばかりです。

その為にもロータリーの支援活動は続けていかなければならないのだと思います。ロータリー財団からもポリオに対する寄付の依頼がメールでも届いていたので、この機会に寄付でもしてみるかとの入力を進めたところ、マイロータリーのログインページに行き着き、マイロータリーの登録を済ませていないと寄付も出来ない状況となっていました。改めてロータリアンはマイロータリーに登録をして情報を得なければならないんだと痛感しました。回覧でもマイロータリーの登録を呼びかけていますので、登録を済ませて些少ですが寄付をしたいと思います。

また、国内ではインフルエンザとコロナの同時感染が広がっています。道内でも1つの学校の中でインフルエンザで学級閉鎖のクラスとコロナで学級閉鎖のクラスが混同し、最終的には休校に至ったという話も聞きます。感染症とは共存の時期になっていますが、知らない人が不特定多数集まるような場所ではまだまだ対策の必要性を感じました。会員の皆さんも必要な対策は講じて、体調管理にはご留意ください。

幹事報告 大西 孝拡 幹事④

1. 世界ポリオデーに向けて、投稿した遠藤会員のメッセージ動画が各種SNSにて公開中です。URL記載案内文を回覧しています。
2. 本日例会終了後、理事会を開催致します。



委員会報告

◇東海林 勉 国際奉仕委員会委員

10月22日、紋別で開催されたロータリー財団補助金管理セミナーへ出席。例年より1ヶ月前倒しの開催で、次年度も同時期予定。

クラブが次年度に地区補助金を使うためには出席必須のセミナーです。補助金申請のガイドライン、申請書の書き方等の説明がありました。

本日のプログラム

第40回「ライラセミナーin北見」参加報告

青少年奉仕委員会 長嶋 宏明 委員
佐藤和徳委員長が本日欠席なので、私が委員長の報告書を代読します。【3頁掲載】

【文中の○数字は写真の番号】



ライラセミナーに参加して

遠軽信用金庫 本店営業部
鈴木 聖矢 様①

今回私は北見市で行われた第40回ライラセミナーに参加してきました。「自らのところに希望を取り戻す〜クリエイティブ ホープ」というテーマのもと2日間に渡り同年代の方々と希望とは何かについて、自らの希望を失った時、希望を持った時の体験談を交えながら意見交換を行いました。その中で登山家、登山ガイドとして前人未到の北海道分水嶺縦断を単独踏破された野村良太さんり講演を聞き、さらに内容を深くまで掘り下げていきました。

野村さんの講演では、北海道分水嶺を縦断するに至った経緯から縦断中の体験談、そして若者に向け希望の見つけ方についてお話して頂きました。体験談を話しているとき、実際に撮影した映像を交え、「この道一步でも右歩いてたら下まで落ちてたよね」など笑いながら命懸けの挑戦を楽しく話している姿が印象的でした。そして、その姿から本当にやりたいことを命懸けでやっている人は、輝いていてカッコいいなと感じました。またお話の中で野村さんは、「何かに夢中になるということは、山を登るのではなく、山を転がり落ちている感覚である」と仰っていました。私は幼いころから野球をやっており、その時のことを思い出すと、時間を忘れて白球を追いかけて、洗濯をしてくれていた親のことなど気にせず泥だらけになっていたなと感じます。そしてそのように夢中になれていたからこそ、高校時代甲子園出場という夢を掴むことが出来たのだろうと思います。

社会人となった今、早く仕事を覚えたい、沢山の仕事を任せたい、結果を出したいなど沢山の目標の中にいます。この目標を掲げ、過去の私のように

自分らしく自然体で頑張ることが、目標への近道であり自分の人生に楽しさや幸福度を与えてくれるのだろうと、野村さんの講演で気づかされました。

この講演を踏まえ、グループのメンバーで「希望とは何か」について日付が変わるまで語り合い、見出した答えは「プラスマイナス希望」という言葉でした。失敗も成功もすべての経験は希望であり、自分の考え方ひとつで全てが希望になるという意味です。例えば、「冷蔵庫が壊れた」という!絶望を希望に変えると「新しい冷蔵庫が手に入る、腐らせないために料理をすることで料理がうまくなる」といったことに繋がります。野村さんも相次ぐ装備品の損傷、食料をネズミに奪われるなど、沢山の絶望に遭遇しており、その時のことを、「もう無理だと諦めてしまえば夢は終わる。どうすれば乗り越えられるだろうと思えたことが、唯一誇れることである。」と仰っていました。ポジティブに物事を考えることは難しい時もあると思います。しかし心のどこかに「プラスマイナス希望」という言葉があれば、どうすれば前を向けるのかと考えるきっかけにもなり、考えているということは希望に繋がっているということにもなると思います。

今回のセミナーを通し、色々な地域、色々な業種の方々と関わることができ、沢山の考え方を学び、自分の気持ちと向き合う良いきっかけになりました。ここでの経験を生かすも殺すも自分次第ではありますが、私の人生をより明るくより楽しくするために実践していきたいと考えます。

最後になりますが、今回このようなセミナーに参加させて頂き、本当にありがとうございました。2日間では足りないほど刺激的であつという間の時間を過ごすことが出来ました。また、お忙しいなか事前準備やセミナー中のサポートをしていただき重ねてお礼申し上げます。

自らのこころに希望を取り戻す

2023-2024
RI第2500地区

クリエイト
ホープ
CREATE HOPE!

Rotary
Youth
Leadership
Award
[青少年指導者育成プログラム]

第40回「ライラセミナーin北見」参加報告

青少年奉仕委員会 佐藤 和徳 委員長

去る10月14日～15日、二日間に渡り、北見市にて第40回「ライラセミナー」が開催され、遠軽信用金庫様より2名のご参加をいただき委員会の引率にて無事に終えることが出来ました。

参加者は鈴木聖矢さんと乾夏妃さんと共に20代前半、そして夏妃さんは乾会員のご令嬢でもあります。

当日は北見市モイワスポーツワールドにて13:00から開会式、式後すぐに第2500地区全域から集まった若者たちが7つのグループに別れ、鈴木さんも乾さんも別々のグループに配属されました。自己紹介を交わしセミナーの説明を受けた後は、実行委員会が用意したバスで講演会場である北見工業大学へ移動し、野村良太氏による講演会「自らの心に希望を取り戻す CREATE HOPE!」を受講しました。

野村良太氏は北海道で活動する登山家で、「積雪期北海道分水嶺縦走」を達成し、その様子はNHKのテレビ番組にもなりました。当日もその際使われた写真や動画をふんだんに上映しながら最後まで楽しくためになる講演でした。

講演後はバスでモイワスポーツワールドに戻り、受講した感想をグループで共有し、夕食の屋外バーベキューに参加しました。夜は肌寒い気温でしたが、若者達は寒気をふっとばす陽気で楽しんでいました。ちなみにロータリアンは隣の建物内で暖かくお肉をつついておりました。

セミナー参加者は夕食後もグループで行動し、宿泊先も同じ場所でまさに寝食を共にしさらに絆が深まったようです。翌日はグループで話し合った内容を報告し、参加者全員で共有し、無事に閉会式を迎えることが出来ました。

引率した感想として、若者の持つパワーを感じた二日間でした。皆さん初対面の相手とも堂々と話し、講演もしっかりと聞き、感想を伝え合う、簡単なようで難しいことをさらっとやっておりました。こんな機会を与えてくれるライラセミナーの良さも感じ、充実した二日間を過ごすことが出来ました。来年は帯広開催とのことなので、また遠軽から若者が参加してくださることを楽しみにしております。

第40回ライラセミナー

遠軽信用金庫 本店営業部
乾 夏妃 様②

この度は、「第40回ライラセミナー」を受講させて頂き本当にありがとうございました。

私は、この2日間を通して同世代の人たちや異業種の人たちと過ごしていく中で、高校卒業後就職した私にとっては、年上の人のお話や経験談を聞きとても刺激的で貴重な時間を過ごすことが出来ました。

セミナーでは、「自らのこころに希望を取り戻す CREATE HOPE!」をテーマにグループディスカッションや基調講演といったプログラムを通じて現状や問題と向き合う有意義な時間を過ごす事ができました。各班に分かれ「過去と現在、自分を見つめ希望を見出すには」という内容について議論をした結果、やはりコロナや災害などといったものが大きく影響しており、コロナ前には当たり前でできていた旅行や趣味、生活が失われ、楽しむことができなくなったり、不安になってしまうことが多々ありました。ですが、その反面リモートやLIVE配信など制限された中でも楽しめることも増えていき、そういったことから、私たちのグループでは「当たり前の日常を大切にできる人になろう」ということになりました。私は、今実家暮らしで仕事で疲れて帰ってきても食卓に温かいごはんが並び、相談ごとや時には愚痴を聞いてくれる家族がいることその生活が日常だと思っていましたが、改めてそばで支えてくれる家族の優しさに気づくことができました。

グループディスカッションでは人見知りな私にとって初対面の人と話すことが苦手ではありましたが、

自分の考えを伝える事ができ、ほっとしたというのが素直なところでした。人前で話すことが苦手だった私がここまで成長できたのも現在の職場で人と接し、時には人に揉まれ大変な事もありましたが、気が付けば少しではありますが自分なりに成長出来たのではと思いました。やはり経験を重ねる事はとても重要だと改めて思いました。

基調講演では、登山家・登山ガイドの野村良太氏の講演を聞き、北海道の分水嶺を縦断するルートの紹介、そして計画における準備の重要性、また自ら撮影した動画を見させて頂きました。父がいつも何事も準備が大事、準備の段階で手を抜くと良い結果は生まれれないと言っていた事を思い出しました。社会人3年目となり業務上でもその日にやることを無計画に進めるのではなく、自分でなにを優先すべきかを考え、効率的に業務をこなすことが自然とできるようになり、計画を立てるといふことの重要性を再認識しました。何かをやりたい、挑戦したいという強い思いがある野村さんの講演を聞き、人生の中で一番私の心の中に響きました。また、高校時代は私も山岳部に所属し登山を経験していたこともありますが、ルートも背負う荷物の重さも全く違うプロのすごさに感動しました。私もいつか機会を見つけ、再度登山に挑戦したいと思っています。

今回のセミナーで感じたこと、思ったこと、刺激を受けたこと、この2日間は私にとって今後の人生で大きな経験となる事は間違いありません。

この貴重な経験の場を与えて頂いた遠軽ロータリークラブの皆様、遠軽信用金庫 島田理事長に心から感謝申し上げます、セミナーの報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

地区補助金について

大西 孝拡 幹事

(10月12日例会、クラブフォーラム報告)

従来の地区大会では本大会の前日に会長幹事懇談会にて大会決議案等の審議を行っておりますが、今年度は会場の都合で通常開催ではなく書面にての開催となりました。

その書面決議の中で、当クラブにも参考になると思う議題を1つご紹介させていただきます。

地区補助金についてです。当クラブは次年度周年事業も控えていることから、他クラブの補助金申請事業をご紹介させていただき補助金活用の参考になればと思いご紹介させていただきます。2022-2023年度の地区補助金の活用クラブは14クラブが申請しておりますので、クラブ名とプロジェクト名、支給額をお伝え致します。

寄付や大会実施、制作物配布と内容も多岐に渡り、毎年の継続事業での補助金【左段下へ続く】

No.	分区	クラブ	支給額(US\$)	プロジェクト
1	3	旭川北	2,494	建築家のたまご育成プロジェクト、故)川島洋一氏が遺した歴史的建物に関する資料の整理
2	3	旭川西	3,937	美瑛RCと協業。カンボジアにおいて教育を受ける普遍的権利の手伝いをするための幼稚園建設
3	5	北見西	3,937	【中止】小学高学年の子供達に異文化理解、リーダーシップ育成のため国際交流の機会を創出
4	6	帯広北	1,181	【中止】小学生アイスホッケー大会 子供達の夢を広げ、併せて地域貢献活動の一環とする
5	6	帯広西	1,460	「思いは招く」のテーマのもと子供達に勇気と元気を与えるためロケット教室を開催
6	6	帯広東	2,338	帯広の開拓の祖、依田勉三翁(よだ べんぞう)の歴史を巡る「おびひろまちなか散策あんない」を作成、配布
7	6	帯広南	945	盲学校へ学校において一人でステージに登壇するため、手すり付きの広い階段を寄贈
8	6	清水	632	町内の小中校4校に車いすを寄贈することによって、安心な学習環境を提供
8	7	釧路北	2,756	駅伝絆プロジェクトを実施し、公共イメージアップに繋げる
10	7	釧路西	2,362	「小学生バレーボール大会」第40回記念大会の主催開催
11	7	釧路南	468	看護を学ぶ学生に対し、専門書を寄贈して学習に役立ててもらおう
12	7	釧路ベイ	2,598	高等専門学校への華道道具の寄贈と体験を伴う披露会開催のサポート
13	8	根室	1,559	公共イメージ向上と地域の交通事故減少のため、反射板配布やのぼり掲示、DVDの製作・配布
14	8	根室西	1,898	地域住民に避難所の疑似体験・震災関連事項を学習してもらい災害での犠牲者減少に役立てる

【右段上より続く】申請クラブもあるようです。地区へ負担金を支払うだけでなく、当クラブも有効に活用して遠軽町、地域への奉仕活動へつながればよいのではと考えます。

ニコニコBOX 森 省三 親睦活動委員

西 清治君 無断欠席 2,000円

2023-24年度合計 220,000円

☆閉会点鐘:木村一則副会長☆今号会報担当:棚橋 忠委員

2023-24_16th-03

出席報告	例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席	編集・発行:メディア委員会
須藤順一 出席委員長	10月19日	43	41	27	5	80.0%		委員長:東海林勉 副委員長:佐藤直也
	10月26日	43	41	25		62.5%		委員:石井朋子 植村涼子 奥山雅行 棚橋 忠 山田荘一

2023-2024年度 国際ロータリー

会長:ゴードン R.マッキナリー(スコットランド)

第2500地区ガバナー:鶴見 誠一郎(紋別港RC)

第4分区ガバナー補佐:伊藤 晴之(紋別RC)

遠軽ロータリークラブ www.engaru-rc.com

会長:高橋義昭 副会長:木村一則

会長エレクト:乾 淳 幹事:大西孝拡

会計:島田光隆 S A A:加藤幸徳

直前会長:高井一博 事務局員:岡本奈津美

◇1959年9月12日創立/1959年11月7日認証

【事務局】〒099-0415 北海道紋別郡遠軽町若見通南1丁目 遠軽商工会議所内

Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail: info@engaru-rc.com

【例会場/日】北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテルサンシャイン Tel 0158-

42-1151 毎週木曜日12:30~13:30 *第3木曜日は夜間例会 18:00~(19:00)

